

# 宮崎大学医学部附属病院 循環器内科 専門医養成プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

優れた臨床循環器専門医の養成を目指し、卒後3年目以降の後期研修において臨床医としての倫理観を培い、循環器科領域の基本的な知識・技術を修得します。関連病院でのさらなる実地臨床研修や大学院での医学研究を通して臨床循環器内科医としての生涯にわたる礎を築いていくことを目標とします。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

- ・ 個々の患者の背景、立場を考慮した医療を実践し、研究的視野を兼ねた循環器内科専門医師を養成する
- ・ 循環器内科専門医として独立して診療できる臨床能力を確立するため、最新の臨床知識・技術・判断力を身につけるようにする
- ・ 臨床医学に立脚した循環器内科分野の基礎・臨床研究テーマを持ち、医学研究に積極的に取り組み、その成果を臨床の現場に還元できるようにする

### 【行動目標】

- ① 虚血性心疾患、心不全、不整脈、高血圧症等の主要な循環器疾患の病態・診断・治療について患者を担当し指導医の元に経験学習する
- ② 診断・検査手技を指導医の監視、指導のもとで実践し、学習・修得する
- ③ 認定内科医・専門医資格、循環器専門医資格を取得する
- ④ 大学院へ進学して医学博士（学位）を取得する

## 3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学病院			国内留学、海外留学・大学病院スタッフ、 関連病院スタッフ		
B		関連施設		大学病院				
C		大学院						
D		関連施設	大学院					
E	関連施設		医員大学院		大学院			
F	関連施設		社会人大学院		大学院			
G	大学病院	関連施設		医員大学院		大学院		
H				社会人大学院		大学院		
I	関連施設 / 社会人大学院							
備考	認定内科医試験			循環器専門医試験			学位取得	

後期臨床研修期、臨床修練期（卒後5～10年次）に大別されます。後期臨床研修では、大学附属病院または連携する関連病院において専門性の高いトレーニングを受けます。循環器治療薬の使用、非観血的検査・観血的検査（心臓カテーテル検査・心臓電気生理学的検査）ならびに非薬物療法（PCI・カテーテルアブレーション・ICD）の術者あるいは助手、救急処置（直流除細動・体外式ペースング・心膜穿刺・IABP）

の術者あるいは助手などを学びます。臨床修練期では日本内科学会認定内科医・専門医ならびに日本循環器学会専門医、大学院では医学博士の取得できるように指導します。なお、途中、コースの変更は可能ですので随時相談して下さい。

#### 4. 評価

後期研修が終了した時点で指導医が評価し、各人の希望を考慮した上で将来の進路についてアドバイスします。

- (1) 患者・患者家族への対応
- (2) 看護師や周囲の医療スタッフとの連携したチーム医療
- (3) 簡潔、明瞭な患者情報のプレゼンテーション
- (4) 研究会、地方会など学会での報告・発表

#### 5. 募集人員 5名

#### 6. 実施責任者

総括責任者：北村和雄（科長）

#### 7. 指導責任者

石川哲憲（宮崎大学医学部附属病院）、石川正（社会保険宮崎江南病院）、福永隆司（宮崎県立宮崎病院）、柴田剛徳（宮崎市郡医師会病院）、竹永誠（藤元中央病院）、岩切弘直（都城市郡医師会病院）

#### 8. 関連施設、学会認定状況

宮崎大学医学部附属病院（日本循環器学会認定施設）、社会保険宮崎江南病院（日本循環器学会認定施設）、宮崎県立宮崎病院（日本循環器学会認定施設）、宮崎市郡医師会病院（日本循環器学会認定施設）、藤元中央病院（日本循環器学会認定施設）、宮崎県立日南病院（日本循環器学会研修関連施設）、都城市郡医師会病院（日本循環器学会認定施設）

#### 9. その他

宮崎県医療の底力になれる循環器医師を育てたいと考えています。また、女性循環器医師数も増えていきます。産休・育児・職場復帰がスムーズに行えるよう、また、事情の許す範囲内でカンファレンス参加や外来・検査業務を行い、最新の医学知識を維持できるように配慮しています。

#### 10. 連絡先

宮崎大学医学部附属病院第1内科病院准教授

石川 哲憲 0985-85-0872 (tetsunori\_ishikawa@med.miyazaki-u.ac.jp)